

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

とらのまき



れきみん・虎の巻

・第七号・

なるほど!

2000年の時を超えた和菓子

一 テレビ出演あり! 現存する最古の和菓子

昭和30(1955)年、西町の川口家に伝わった文書の中から、和紙で包まれた二つの丸い落雁(らくがん)(碎いた米などを砂糖蜜で固めた和菓子)が発見されました。

徳川家の家紋である葵(あおい)の御紋がかたどられており、一緒に手紙の下書きが保存されていました。それによると、文化15(1818)年に、川口常次郎という人物が、駿府(現在の静岡県)の華陽院(けいうえん)というお寺を参拝し、頂いたものと分かりました。華陽院は徳川家康の祖母である源(げん)氏(いし)に源(げん)氏(いし)の菩提寺で、川口家の先祖と源氏(げん)氏が婚姻関係にあったことから、先祖参りに立ち寄ったと考えられます。



「現存する最古の和菓子」として、2月にテレビ番組で取り上げられました。ぜひ見学してください。

二 愛称は…発表式で披露!

令和7年10月から令和8年1月まで募集した、歴史民俗資料館の愛称が決定しました。

北海道から沖縄まで42の都道府県、4歳から89歳の幅広い年齢から応募があり、応募総数は1063件でした。その中から「資料館のイメージにあっているか」「覚えやすいか」などを選考ポイントとして、最優秀賞、優秀賞を決定しました。資料館の愛称になる最優秀賞は「愛称発表式」で発表します。ぜひご参加ください!

愛称発表式

- 時 4日(土)11時~12時
所 歴史民俗資料館
内 ①資料館の愛称(最優秀賞)
・優秀賞の発表、表彰
②資料館の展示解説

問 文化課
TEL 0848-64-9234
FAX 0848-67-5912